

非現実の日々

川口晴 = 榎望 (駒31)



入学集合写真1976年



映画プロデューサーとして、脚本家として、そして作家としてもご活躍の川口晴氏=榎望氏に、ご自身についてのエッセイを綴っていただきました。



第104号

2019年 4月 1日 発行

一般財団法人
駒場松桜会
都立駒場高校同窓会

〒153-0044
目黒区大橋2-18-1
都立駒場高校内

TEL/FAX

03 - 3466 - 7579
(毎月曜日の業務日
以外は留守番電話)

携帯電話からも住所変更ができます。



住所変更専用
QRコード

男子高校生というのはおぼかなものである。少なくとも私はそうで、思い出すのもおぼましいような恥ずかしい経験が多々ある。思い出したくないのに、今の記憶をもったままタイムワープして若返り、駒場で高校生をしているという白日夢のよな夢をみたこともある。そこからやりなおせばもう少し賢くなれたのではないかという願望の反映なのだろう。しかし、初老の脳は高校生の勉強についてゆけず慌て、大学一年のとき出会った妻にまた会わなければいけないのでその大学に進み、18歳の妻に話しかけるのだが、向こうは警戒してまったく心を開いてくれないという悪夢と展開するわけだが。

高校時代のことを思い出すと、現実よりも虚構、同級生たちよりも作家やミュージシャンの固有名詞があふれてくる。こどもの頃からの文学好きが高じて小説をよく読んでいた。好きな作家は全集を図書館で借り、手紙や日記を読むのも好きだった。森鷗外(『妻への手紙』がデレデレで面白い)、石川啄木『ローマ字日記』(これは妻への秘め事を妻が読めないローマ字で記している)、カフカ(『書物とは、われわれの内にある凍った海を砕く斧でなければならぬ』という箴言に出会う)、谷崎潤一郎、樋口一葉、フローベール、シェイクスピアなどなど。下校後はほぼ毎日、下北沢、代々木、四谷に出て、ジャズ喫茶に通った(『マサコ』『シエルブルー』『NARU』『イーグル』)。高校一年生のときラジオを聴いたら流れで聴いたそれまで聞いたこともなかった音楽(キャンノンポール・アタレイ・クインテット)に圧倒されたからジャズにはまっていたのだ。ジャズ好きの友人はいなかった。(クイーン、ストーンズ、デーブ・パープル、レッド・ツェッペリン、ジェフ・ベックなどは同級生たちとレコードを貸し借りし、コンサートにも行った)。ジャズ喫茶にはいつも一人でいた。親友はいず、女子と友達になることを夢見、虚構世界に没頭して過ごしていた。さびしい高校生である。



京都修学旅行時 悪友たちと
1978年 (左端が筆者)

スポーツに没頭したわけでもない。スポーツの選良のつどう保健体育科の教室が国体の時期になるとがらんとすることや、隣接する芸術高校からヴァイオリンやピアノの調べが風に乗って流れてくること、ゆったりしたキャンパスなどを思い起こすと、長い休暇をリゾートで過ごしていたような印象さえある。世界史、漢文、日本史ととても高度で濃厚な授業に恵まれていたなあという思いはある。一方何しろ生徒を信用してくれていて自由だった。それに乗じて、授業をなまけては虚構の世界のほうにさまよい出ていったものだった。

あちこちの映画館にも通っていた。封切りの洋画は、当時まだあった渋谷パンテオンや岩波ホールなどで(『タクシードライバー』を初日にみた。渥美清さんがひとりだみにいらしていた)、旧作は、佳作座、文芸座、八重洲スター座、大井武蔵野館などなど。

高校一年のとき創刊されたマ

マンガ誌「Lala」にはまり、少女マンガをあびるように読んでいた。別冊マーガレット、少女フレンドも欠かさず買い求めた。



駒場在校時に創刊されたコミック誌

男子向けのものはなぜか手が伸びなかった。女子になりたいという願望が心の底にあり、駒場の清楚な女子たちと恋愛関係ではなく友達になりたいと願っていた気がする。ある種の倒錯だが、おもっているだけなのでかわいいものである。こんなことを告白していると、女子になつて駒場時代にタイムワープする夢をみてしまいそうだ。いまでも、男のおばさんを自覚し、小説を書くとき女性の一人称がいちばん書きやすく、シナリオも女性キャラの造形のほうが楽にできる。それは元女子高の駒場で過ごしたことの影響かもしれない(いま気づいた)。当時21群といつて新宿高校と対で、どちらに振り分けられるかはわからなかったのだが、新宿高校にいついたら物書きになつていたかどうか。

受験勉強にもう少し時間を割くべきだったのだからけど、3年のときはジャズ喫茶で受験参

考書を読んでいたな。高校時代、おびただしい固有名詞と創作の産物にひたりつづけていなかったら、物書きになつていなかっただけであらう。映画制作の道も目指していなかったかもしれない。作り手としての自分の素は駒場時代に胚胎したのだと思う。



一昨年、12月12日、小津安次郎監督のお墓参りに。

プロフィール

川口晴(かわぐちはれ) Ⅱ 榎望(えのきのぞむ) 1979年、駒場高校卒業。早稲田大学第一文学部卒。相米慎二監督に師事し、脚本家となる。松竹で30年間映画制作に携わる。

主な作品『僕らはみんな生きている』(滝田洋二郎監督)、『岸和田少年愚連隊』(井筒和幸監督)、『あ、春』(相米慎二監督)、『壬生義士伝』(滝田洋二郎監督)、『クイール』(崔洋一監督)、『刑務所の中』(崔洋一監督)、『血と骨』(崔洋一監督)、『ゲゲゲの鬼太郎』(本木克英監督)、『花よりもなほ』(是枝裕和監督) 他、『駆込み女と駆出し男』(原田眞人監督) 『日本のいちばん長い日』(原田眞人監督)、『母と暮せば』(山田洋次監督) など、映画賞受賞作、ヒット作多数。

脚本に、『風花』(相米慎二監督)、『樺山課長の七日間』(河野圭太監督)、『星に願いを。』(富樫森監督) 他。

小説に、『月の夜に洪水が』(幻冬舎)、『犬と私の10の約束』(文藝春秋)、『山猫クレー』(河出書房新社) 他。

ゴールドコースト海外語学研修 支援の御礼

校長 安部 卓郎

平素より本校の教育活動につきまして、格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。お蔭様をもちまして、昨年8月16日から8月26日の11日間、オーストラリア、ゴールドコーストでの海外語学研修を無事終了致しました。本新規事業に際しては、貴会より参加生徒一人当たり2万円のご支援を頂きました。本当に有難うございました。

2年7ホーム 八尋 賀子

今回の海外研修では悠大な自然に感動したり、様々な観光地やいかにも海外らしいスーパーマーケット、大型ショッピングモールでの買い物を楽しんだり、現地校の文化祭にお邪魔したりしました。随所で様々なカルチャーショックを受けましたが、現地の温かい方々との交流はとても貴重な体験となりました。日本語を喋れる方や日本への留学経験のある生徒にも数多く会い、とても驚きました。

私がこの研修で最も印象的だったことは、オーストラリアと日本の学校の違いでした。通学方法や施設、教科の違いはもちろん、授業に各自のパソコンを用いることはとても驚きました。板書や課題の提出もすべて紙ではなくデータで行うようで、大学みたいだと思いました。



また、私がお世話になったホスト宅に滞在していた中国人の留学生とも話すことができました。英語を使うことで、英語を母国語とする人々とだけでなく、違う母国語を持つ人同士も交流できることを身をもって実感し、改めて英語を学ぶことの重要性を考え直す契機となりました。

せせ

第22回



プロフィール
 岩手県大船渡市出身。1969年 岩手県立一関第一高校卒業。1974年 東京教育大学(現 筑波大学)体育学部武道学科卒業。1974年4月~1989年3月 都立駒場高校。その後小石川高、深川高教頭、井草高を務める。東京都高体連会長、全国高体連副会長、文科省中教審委員など歴任。講道館柔道六段。2011年3月 定年退職。2014年4月 埼玉栄中学・高校校長。2017年4月 学校法人金井学園理事長補佐。今に至る。

駒場の思い出

駒場高校での15年の教員生活は、私の人生にとって最高の時でした。

1974年4月、大学卒業したの若者の教員としての最初の赴任地が駒場高校です。府立第三高女の学校に着任するには独身ではいけないと親友に脅され、大学卒業式の次の日に結婚式を挙げての着任でした。何もかもが新鮮でまさに人生の岐路と言っても良いスタートでした。それもそのはず、実は私は、大学で柔道を専門として学びましたが、教員になるつもりはなかったからです。都立小石川高校での教育実習であまりの自分の不甲斐なさを感じるとともに教員としての魅力を感じ、挑戦するつもりで教員で

した。

その後、現在まで教員、教育に関係した仕事をつづけられたのは駒場のお陰です。授業はもちろんのこと、保体科3回、普通科1回の担任、柔道部の顧問、数多くの学校行事、実習等の在任中の思い出は教員冥利に尽きます。それは素晴らしい生徒と教育愛に燃えた先生方と出会えたことに他

佐藤 光一(保体)

なりません。私のその後の人生生き方を決めたのが駒場です。今でも卒業生との会で昔話に花が咲きますが、その時が一番私の輝いている時かもしれません。

その後、多くの学校や教育関係に関わりましたが、私の人生観、教育観は駒場で醸成されたところでも思っています。伝統ある駒場には数多くの優秀な卒業生を輩出していますが、教え子が各界で活躍する姿を見るときに無上の喜びを感じます。その中で、柔道を通じて田辺陽子(オリンピック3回メダリスト)松江美季(パラリンピック金メダリスト)を指導できたことは幸運でした。駒場の思い出は私の自慢そのものです。

私は、都立墨田川高校校長で退職した後、埼玉栄中学・高校校長を経て、現在、金井学園(福井工大、福井高、福井中)の理事長補佐として、理想の学校づくりに取り組んでいます。これからの駒場高校にも社会に貢献する多くの人材を輩出することを期待しています。また、同窓会で皆さんとお目にかかれる日を楽しみにしています。

は、私の人生にとって最高の時でした。

は、私の人生にとって最高の時でした。

70歳過ぎて青春真っ最中

大森 静代(旧姓 面川) (駒16)



慶應義塾大学にて

「ボケてる暇なんてありません」と、70歳で本を出版しました。「働きたがら60歳で慶應義塾大学を卒業した私の生涯学習法」。その本のカバー写真はおなじ駒16のリウ・ミセキ君でした。

高校生活は、入院、長期欠席、大学進学断念と灰色でした。しかし、それがあったからこそ、出版することができたのです。

中学の時に大病をして以来、定期的に病院を受診していました。2年生の時、修学旅行の2日前の受診で、そのまま入院となりました。「修学旅行から帰ってきたら入院しなす」という私に、医師は「棺桶に片足を突っこんでいる」と。血液が半分なかったのです。中学生の時の病気の再発でした。それから4か月の入院。出席日数確保のため、40日欠席、残りは病院から学校に通い、午前中だけ授業を受けました。成績は落ち、就職しました。20歳の時転居し、駒場高校との縁が切れてしまいました。

40歳の時、駒場に転居。学校を訪ね、英語の小川碧先生と再会しました。先生の第一声が「あなた、同窓会で行方不明になっているわよ」でした。そこで、松桜会と繋がりました。進学を断念したことは、ずっと心に残っていました。

駒場高校時代
48歳で慶應義塾大学に入学し、通信

教育課程で学び、卒業しました。通信ですから独学で、卒業率は3%、卒業所要年数は平均で8年。離婚していたので仕事・子育て・勉強の三つ巴で、卒業した時は60歳でした。卒業して、高校の時に長期欠席で抱いていた劣等感を払拭できました。なによりも、学ぶ楽しさ(学校の勉強に限らず)を知りました。

転居続きで途切れていた松桜会と再び連絡を取り、駒16の同期会の幹事の木村福夫君とつながっていただきました。それが5年前。

「あなた生きてたの? 足あるわね」、同期会で50年ぶりに再会した友の第一声でした。

その時、リウ・ミセキ君と隣の席になったことが、本のカバー写真につながりました。「写真やっているんだ」と言ったので、町の写真屋さんだと思いました。リウ君のホームページを見たら、世界で活躍したスゴイ写真家なので驚きました。リウ君が撮影した私の本のカバー写真は、読者に評判です。

リウ君の著書「撮影現場」を読んだ感動し、71歳でデジタル一眼レフを購入。趣味で写真を撮るようになりました。毎日、朝焼けを撮ってフェイスブックに投稿しています。それはもう2年半続いています。

69歳から習い始めた楽書(らくしょ)というアートの楽書で、楽書と写真のコラボ作品展があります。写真は私の皆さんに使っていただけることになりました。

2年の時の担任の霜垣先生から電話をいただきました。「本を読んで感動したので(私と)話がしたくて」とおっしゃいました。

わざわざ、幹事に私の電話番号を

わがわが、幹事に私の電話番号を



73歳現在の筆者

プロフィール

- 1945年 東京世田谷に生まれる
- 中学・高校で血液が半分になる病気で長期欠席
- 駒場高校時は出席日数確保のため、一時は病院から通学
- 輸血が原因で後にC型肝炎発症
- 1964年 出光興産(株)に就職
- 38歳の時結婚12年で離婚。失業・再就職を繰り返しつつ2人の子供を育てた
- 1993年48歳 慶應義塾大学入学 通信教育課程に学ぶ
- 仕事・子育て・勉強の並立
- 1995年50歳 職業訓練校に学び、簿記2級、電卓3級取得
- 2006年60歳 慶應義塾大学卒業
- 2009年63歳 C型肝炎治療
- 2015年70歳 『働きながら60歳で...』を執筆・出版

著書「働きながら60歳で慶應義塾大学を卒業した私の生涯学習法」

働きながら60歳で慶應義塾大学を卒業した私の生涯学習法

「働きたがら60歳で慶應義塾大学を卒業した私の生涯学習法」

「ボケてる暇なんてありません!」

60歳以上を生きるには、健康な心と体が必要。そのためには、生涯学習が不可欠。本書は、著者の経験から得た、60歳以上のための「働きながら60歳で」のヒントを、わかりやすく伝えています。

問い合わせて下さったのです。先生は「働きたがら60歳で慶應義塾大学を卒業した私の生涯学習法」の感想を述べて下さいました。そして、「卒業論文をぜひ読みたい」とおっしゃいました。本には卒業論文のことも書いてありました。

卒業論文の予備をお送りしました。恩師から卒業論文を所望される、たいへん光栄でした。

「出来ないは、やってみてから言う言葉」「何かを始めるのに、いくつになっても遅いということはない」「病気をするのは生きてる証拠」というのが私の考えです。

私は今、青春真っ最中! 松桜会のおかげで、皆さんとの交流ができたからです。

速報！ご出席予定の先生方

(幹事学年の担任・関わられた先生方)

- 大野 修代先生 (保体)
(江口)
- 金城 靖子先生 (美工)
- 佐藤 光一先生 (保体)
- 早川 富一先生 (英語)
- 森 博子先生 (英語)
- 山本 茂之先生 (数学)

(50音順)
(現在も順次お伺い中です)

第13回「同窓の集い」予告

皆で集まろう「同窓の集い」第13回！ 幹事学年は 駒31・41・51回生

第三・駒場の同窓生が1年に1回、一堂に集まれる貴重な機会です。部活動の集まりなどに利用されてはいかがでしょうか？
幹事学年以外の方々も、大勢のご参加をお待ちしております！

日時：2019年6月9日(日)
会場：渋谷東武ホテル
受付：12時30分～
同窓の集い：13時～15時30分
会費：6,000円(第三・未成年 3,000円)
先生方は2,000円
新入会員(駒71)は無料です

当日受付でもお支払いただけますが、混雑が予想されますので、会報に同封の振込用紙にてお振込いただけますと助かります。

昨年度「同窓の集い」の様子



駒31 40年目のパワーチャージ!!

西岡治之・渡辺啓・伊東明子・栗田浩三・篠田朋久・鯉淵早弓(宮崎)・佐伯浩美・中野正尊・板垣絵里(大畑)・三好達雄・安田一彦・松崎啓子(鈴木)・小嶋由紀(山内)・大塚雅一

駒31の皆さん、お元気ですか？

今年は卒業して40年。月日の経つのは早いものですが、高校時代の思い出は、皆さんの心のどこかに残っていると思います。

「同窓の集い」当日は、40年前の高校時代に戻って、懐かしく、楽しいひとときを過ごしませんか！ また、「同窓の集い」の後は、卒業以来初めての、駒31の合同クラス会を開催します！

3年間クラス替えがなく、横の繋がりはあまりありませんでしたが、もしかしたら思いがけない繋がりやご縁があるかも知れませんし、新たに生まれるかも知れません！

当時のクラスや部活の仲間との再会を懐かしむと共に、40年目の新たなスタートに向けて、楽しく、元気な時間を共有しましょう！



駒41 プレイバックpart41

白坂薫(五十嵐)・早野智子(大貫)・津田晶子(大江)・佐藤雪(佐々木)・野口英一・高山博国・吉井功治

千葉にある東京ディズニーランド、大橋なのに駒場高校。その疑問を解決できぬまま、気づけば30年の時が流れてしまいました。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 先日、テレビの対談番組で綺麗な女優さんがこんなことを言っていました。「50歳を過ぎてから、出会いよりも再会の方が大事に思えて、楽しいよね。」

我々が駒場を巣立ったのが平成元年。そして新しい年号で迎える最初の同窓会。普通科と保体科、運動部と文化部の垣根を越えた再会、世代を越えた出会い。そうなることを楽しみにしています。



駒51 卒業から20年の節目に… 古川大祐・大山理沙(熊田)・大島陽子(柿沼)

皆さんこんにちは。駒場高校を卒業してから早いもので20年が経ちました。

仕事や子育てや趣味など皆さん多方面で活躍され、お忙しくされていることと思います。6月9日は駒51の繋がり、輪をもう一度深め合えるチャンスです。実際にお世話になった先生方、先輩方、駒51の同級生で会って当時の話や近況を語り合いたいと思います。そして今後の活力を充電できる日になればと思います。現在古川と熊田が幹事を行っていますが、2人では限りがあります。なるべく駒51の全員に連絡が行くようにしたいのでご協力頂ける方がいらっしゃいましたらあわせてお願いします。久しぶりの再会をみんなで喜び盛り上がりましょう。多くのご参加をお待ちしています!!



次回 「松桜会コンサート」 のお知らせ

2019年12月7日(土) 14時から東京オペラシティリサイタルホールでクラシックギタリスト、河野智美さん(駒46)によるコンサートを予定しています。

どうぞご期待下さい。



♪ 2018年度 駒場松桜会コンサート報告 ♪

今回の松桜会コンサートは、去る5月22日に旧芸術高校ホールで急遽行われた鮫島有美子さんのコンサートでは聴き足りない、もう一度聴きたい、行けなかったのでチャンスがあればぜひ、という声に推されたもので、鮫島さんも快く受けてくださったことから公演にこぎつけたものです。

当日は初冬とはいえ穏やかな陽射しのもと、心待ちにしていた皆さんが開場前からずらりと列をなし、コンサートへの期待をひしと感じました。開演前には座席もほぼ満席です。

第一部は天皇陛下御作詞、皇后陛下御作曲の「歌声の響」から始まりました。これは1975年に沖縄をご訪問された時の体験をもとに琉球の歌の形式「琉歌」で御作りになられた曲で、沖縄ことばと沖縄の旋律が鮫島さんのびろうどのような歌声に乗せてしみじみと心に深く響き、会場がしんと、この最初の曲で引き込まれていくのを感じました。

去年の松桜会コンサートに出演された三宅美子さんが一曲だけ、「おもひ子」をアイリッシュハー

プで伴奏していただきました。その後「星の王子の…」、「風運び来よ」、と、皇后陛下ゆかりの曲が次々と披露されました。これらの曲への鮫島さんの深い思いが場内の一人ひとりに届けられるのがわかるようなひと時でした。

第二部は越路吹雪へのオマージュとして、皆知っているシャンソンが12曲、披露されました。黒いドレスは第一部と同じでも、青色のストールからキラキラの銀ラメ入りのジャケットに変わるだけで場内は一気にパリのシャンソニエに。洒落たピアノに乗せて、鮫島さんの正統派クラシックの美声が包み込むようなシャンソンとなって、これがあのオペラの舞台上で響いていた声と同じかと思うだけでぞくぞくします。越路吹雪へのオマージュと銘打っていても、いえいえ、鮫島有美子さんのシャンソンです。守備範囲の広さには驚くばかりです。

最後にアンコールの曲が駒場高校の校歌で、場内をさらに沸かせました。松桜会コンサートでなければありえない選択です。

鮫島さんの歌声のすばらしさ、受けた感動を表現できないが大変残念なことで申し訳ない限りです。機会があれば、ぜひ鮫島さんのコンサートにいらしてください。



家内の意を体して

故安孫子妙子の急逝に対する会員の皆さまのご配慮に心から深謝申し上げます。

本人は恩師石川キクノ先生(担任)の薫陶を頂いた一人ですが、平成28年頃に駒場松桜会の要請を受けて、「コチロンを踊る会」の世話人と運営を仰せ付けられました。CDの作製、特に記念誌「コチロン」の刊行に編集委員として携わり、コチロンの歴史、意義や振興をしました。特に、本人は駒場の文化財としてのコチロンを継続・発展させるための方策の一つとして、基金の必要性を考えていたと思います。今回の寄付がコチロン振興は無論のこと、駒場松桜会が発展・充実することの一助となれば望外の喜びです。



深い感謝の意

この度、故安孫子妙子様(駒12)のご遺族 安孫子友行様(元保体科教員)から松桜会に300万円の寄付をいただきました。安孫子妙子様には松桜会活動「コチロンを踊る会」でお世話役としてご尽力をいただいておりますが、昨年2月末から病氣療養中のところ、5月末にご逝去されました。常々コチロンの発展を願っておられました奥様のお気持ちを引き継ぎたいと、大切にさせていただきたく存じます。

理事長 馬淵伸子

コチロン特別練習の報告

2018年10月15日(月) 駒場高校生徒ホールにて 第三34から駒39までの参加者29名。世代を超え伝統のダンスを通じて貴重な楽しい時間を過ごしました。初めて会に参加されたのは、1958年のアジア大会開会式に在校生で踊った方々。先輩方の所作に学生の頃の記憶を辿っていらっしゃいました。

昼食会ではそれぞれコチロンや学生時代の思い出話を披露。大いに盛り上がりました。

●コチロンを踊る会 練習日

日時 毎月第3月曜日、月1回土曜日(学校行事優先のため不定期) 11時~13時

会場 駒場高校生徒ホール

※ 参加する方には日程表を郵送します。これから始めてみたいという方の参加も大歓迎! 松桜会事務局までお問い合わせください。



都駒祭参加報告

2018年9月8日(土)・9日(日)の母校学園祭に松桜会も例年通り参加しました。

203教室に「お休み処」を設置し、来場者の皆さんに無料のお茶を提供すると共に同窓会活動に関する展示を行いました。

また老朽化による雨漏りのため一般公開が危ぶまれていた仰光寮ですが、昨年3月に東京都による応急補修が行われ、無事建物を公開することができました。2日間で233名の見学者が来場し、松桜会会員が仰光寮の由来等を説明しながら内部をご案内しました。

五大陸前では「コチロンを踊る会」のメンバー(第三34~駒39)が多くの人々の前でコチロンダンスを披露しました。

松桜会は今年も9月14日(土)・15日(日)に開催される学園祭に参加します。皆さま、この機会にぜひ母校を訪れてみてはいかがでしょうか。



医療のいまどき情報

麻疹風疹ワクチン(予防接種)について

千木良 真保(旧姓 道本)(駒33)



近年ニュースなどで麻疹(はしか)や風疹の流行が報じられるのを皆さんもご存知の事でしょう。麻疹は高熱と発疹を主な症状とし空気感染、飛沫感染、接触感染をする非常に強い感染力のある疾患

です。インフルエンザよりも辛い症状に加え、脳炎や肺炎を合併し時には死に至ることもあります。また症状が軽快して何年も経った後で亜急性硬化性全脳炎を発症する事がある恐ろしい病気です。江戸時代には「命定め」とも言われ、1862年には江戸だけで約24万人の死者が出ました。最近でも2007年に10歳代20歳代を中心とする流行がありました。また2016年には、ある歌手のコンサートに参加していた男性から感染が広まり、関西空港を中心で大騒ぎになりました。

風疹は麻疹に比べると症状は軽度ですが、妊娠初期の女性が罹ると胎児に感染し先天性風疹症候群(白内障、難聴、心奇型を3徴とする先天性疾患)と呼ばれる児を出産する可能性があります。2012年には大流行し、患者数は14000人以上となり先天性風疹症候群の子供は45人となりました。この子供達は、人々が広くワクチンを接種していれば障害を持って生まれてくる事はなかったのです。

麻疹も風疹も予防するにはワクチンの合計2回接種が効果的です。麻疹ワクチンについては、2回接種を受けているのは1991年出生以降です。1977年から1990年生まれの人

は1回接種の年代で、現時点では免疫抗体が低下していると予想されます。風疹については、1962年4月1日生まれ以前は未接種、1962年4月2日以降1979年4月1日生まれまでは女性のみ1回接種、1979年4月2日生まれ以降1990年4月1日生まれまでは男女とも一回接種となっ



①は麻疹、②は風疹の皮疹である。(フィッツパトリック皮膚科学アトラス5版より) 一見すると同じように見えるが麻疹の方が長く辛い発熱期が続く。時に致死的な肺炎や脳炎、数年を経てからの亜急性硬化性全脳炎を引き起こす。風疹は、罹患期間は短いが関節炎や血小板減少性紫斑病を合併したり、妊婦が罹患すると先天性心疾患、白内障、難聴などの先天性風疹症候群児を娩出する可能性がある。

ていて、やはり現在では免疫抗体が低下していると考えられます。抗体低下が予測される年齢層には父親母親になりうる世代が含まれていて、本人の感染のみならず胎児への感染も懸念されます。

日本にはMRワクチンという麻疹と風疹の混合ワクチンがあります。定期接種対象者は1歳児と小学校入学前1年間の幼児です。しかし抗体低下が予測される年代では抗体検査を行い、結果によりワクチンを接種する必要があります。

先日厚労省が、2019年より39から56歳までの男性に無料で風疹抗体検査やワクチン接種を行うとの発表をしました。市区町村では独自に出産可能年齢での無料抗体検査、ワクチン接種を行っているところもあります。MRワクチンは生ワクチンで妊娠中の女性は接種できません。またワクチン接種後2ヶ月は妊娠できません。そのため妊娠を希望される人は早めに産婦人科医などに相談してください。その他にも多少の注意事項はありますので医療機関にお尋ねください。

麻疹も風疹もワクチン以外に予防する事は困難です。疾患自体も重篤で、辛く治療法も無く周囲や胎児への影響も絶大です。この機会に皆様ご自身の母子手帳を確認され、または抗体検査を受けられ、日本からの麻疹風疹感染排除が進む事を願っています。

プロフィール

1987年 獨協医科大学卒業
1995年 医学博士号取得
2002年 あおば医院開業
内科専門医 腎臓専門医 医学博士

新入会員から



駒71-3ホーム 木崎 あさひ

駒場高校で過ごした3年間はとても充実していて、あっという間に過ぎていきました。勉強も部活も行事も本気で取り組む周りの駒場生に感化されて、私もそれに本気で取り組むことが出来ました。

私はKMC(駒場ミュージッククラブ)に所属していました。もともとKMCは他の部活に比べて積極的な活動は少なかったけれど、先生の熱心な指導と、努力を続けようと思わせてくれた部活の仲間のおかげで、バンドとしてKMCで初めて東京大会で優秀賞を受賞することが出来ました。駒場高校はスポーツの印象が強いですが、どの部活に所属していても活躍するチャンスはあるし、努力はすぐではなくても結果として現れるということをもっと学ぶことが出来ました。

支えてくださった周りの方々への感謝とこの経験を忘れずに、これからも成長し続けていきたいです。

駒71-7ホーム 鈴木 真美



駒場高校で過ごした3年間は、あつという間、ついでこの間入学したように感じます。部活動や勉強や行事に一生懸命取り組み、忙しくも、とても充実していました。

私の高校生活の軸であったのは部

母校生徒の活躍(1月現在)

- 男子バスケットボール部
 - ・東京都新人大会ベスト16
- 女子バレーボール部
 - ・東京都選手権大会兼インターハイ予選第9位
- サッカー部
 - ・全国サッカー選手権東京都大会ベスト8
- 体操競技部
 - ・東京都選手権大会兼国体予選女子団体第1位
 - ・女子個人総合第4位 跳馬第1位 第3位 平均台第2位 ゆか第2位(女子個人全国大会出場)
- 剣道部
 - ・東京都高体連剣道専門部剣道形大会 第2位
- 陸上競技部
 - ・東京都高校新人陸上選手権大会女子走幅跳第2位 女子三段跳第3位(以上関東大会出場)
 - ・関東高校新人陸上選手権大会女子三段跳第3位
- 水泳部
 - ・東京都高校水泳競技大会
 - 女子400mフリーリレー第6位
 - 女子400mメドレーリレー第6位
 - 女子800mフリーリレー第8位
 - 女子100m平泳ぎ第8位
 - 女子100m背泳ぎ第7位
 - 女子200m背泳ぎ第6位・第7位
 - 女子200m自由形第6位
 - 男子100m平泳ぎ第6位
 - (以上関東大会出場)
 - ・関東高校水泳競技大会
 - 女子400mメドレーリレー

女子400mフリーリレー
女子800mフリーリレー
男子100m平泳ぎ第7位
(以上全国大会出場)

●駒場フィルハーモニーオーケストラ部
・日本学校合奏コンクール全国大会
グランドコンテスト高等学校の部
銀賞

●演劇部
・東京都高校演劇連盟都大会
団体賞 特別賞

●駒場放送局(KHK)
・NHK杯全国高校放送コンテスト
東京都大会決勝進出

●新聞局
・東京都高校新聞コンクール準優秀賞
(東京都第4位)(全国大会出場)

●KMC(軽音部)
・東京都軽音楽連盟東京都コンテスト
決勝大会出場

これからも母校生徒の応援よろしく
お願いいたします!

松桜会年会費免除のお知らせ

松桜会年会費は当該年度中に80歳を迎える学年より免除となります。(今年度は駒10回およびこれより上の学年の皆様が年会費免除会員です)

「駒場松桜会フェイスブック」について

現在駒場松桜会の名前で開設されているフェイスブックアカウントは、当駒場松桜会とは関係ありません。

◆同期会開催のご案内◆

駒16同期会

新元号最初の、また卒業55周年の同期会を開きます。仲間と共に、楽しかった!ほろ苦い!青春時代を思い浮かべ、ひと時を過しましょう。

日時 5月25日(土)

会場 小田急ホテル
13時~16時

センターリサザンタワー
(新宿)

会場 小田急ホテル

会費 9,000円

連絡 komaba16@gmail.com

TEL 03-33370-3627

(中野)

年会費の納入のお願い

松桜会会報の送料(ゆうメール代金)が値上がりしています。平成29年7月には1通あたり64円から78円に、本年7月からはさらに94円に値上げされます。2年間に1通あたり30円の値上げとなり、発送費用の負担が大きくなっています。皆様には松桜会年会費をお納めいただけますようお願い申し上げます。またお引越の際には新住所のご連絡もお願いいたします。

寄付者芳名

2019年1月末日現在

2018年7月以降本年1月末までに25名と1団体から合計41万6千円のご寄付をいただきました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。

- 第三26 (故)浦 八千代
- 第三34 松 永 寿
- 第三41 金子 操
- 第三43 平岡 富貴子
- 第三45 澤村 幸子
- 高22 長谷川 雅子
- 駒2 野村 友子
- 駒2 和田 正江
- 駒2 原 隆 子
- 駒2 大久保 弘 子
- 駒2 山崎 春世
- 駒3 小暮 春子
- 駒3 三澤 眞砂代
- 駒4 熊澤 昭 子
- 駒4 宇田川 昭代
- 駒6 齊藤 章子
- 駒6 後藤 美保子
- 駒7 土橋 央子
- 駒7 飯田 房代
- 駒8 沼田 浩子
- 駒8 中野 克子
- 駒16 山崎 眞理子
- 駒17 山崎 眞理子
- 駒18 山口 桃子
- 駒19 大窪 湖一
- 駒9 駒9-8ホーム

訃報

山崎 和彦先生(保体)
(2017年8月31日)
藤井 喜代先生(英語)
(2019年2月16日)
謹んでご冥福をお祈りいたします



駒71-保体科 池亀 りん
駒場高校で過ごした3年間はあつという間でした。私は柔道部に所属していました。慣れない上下関係や礼儀など、一年生の頃は何度も悩むことがありました。しかし、それを支えてくれたのはクラスや部活の仲間であり、みんな同じような悩みを抱えて頑張っているのだと思うと私自身も頑張ることができ、仲間の存在の大きさを感じました。

また、3年間の集大成である最後の演技発表会では演技が終わった後には大きな達成感を得ることができ、様々な感情が込み上げ、こまごまで頑張ってきた良かったと心底思える瞬間であり、決して忘れられない素晴らしい時間を過ごすことができました。この3年間で学んだ事は大きく、支えて下さった先生方や仲間、家族に感謝の気持ちを忘れず、駒場高校での経験を誇りにこれから先も頑張ります。

松桜会講座のお知らせ(平成31年度上期)

4/15(月) 締切

対象者：駒場松桜会会員・母校教職員・PTA会員 他

申込方法：往復はがきに、次の内容を記入してください。

- ①講座名 ②郵便番号・住所 ③携帯及び固定電話番号 ④氏名
- ⑤会員—卒業回 教職員—所属 PTA会員—お子様の氏名・学年・ホーム

☆返信はがきに宛先の住所・氏名を記入してください。1つの講座につき1枚でお申し込みください。

申込先：〒153-0044 目黒区大橋 2-18-1 都立駒場高校内 (財)駒場松桜会事務局

A 講座

講師
寶金 敏明 (駒17)

弁護士。中央大学法学部卒。東京地裁裁判官、東京法務局長、最高検察庁検事、公証人、元駿河台大学、中央大学の各法科大学院(正・客員)教授を歴任。

身近な最新の法律問題

- ① 「所有者不明空家・空地問題—相続義務化の問題を含めて」を分かりやすく解説します。
- ② 「民事信託」身近だけれど知られていない「民事信託」について分かりやすく解説します。
- ③ 「国と地方自治体との確執」について話します。

定員：30名
受講料：1,500円
会場：母校東館和室

10:30~12:00
5/11(土)・6/1(土)・7/13(土)

B 講座

企画
講座部会

JR山手線の駅から歩く路地めぐりⅥ —大塚・巣鴨・駒込駅—

明治36年、池袋・田端間が日本鉄道豊島線として開通し「江戸」から変貌した街を歩こう。

- 1. 大塚駅から：エッ、大塚ってどんな街だっけ？まあ歩いてみよう！感じてみよう！
- 2. 巣鴨駅から：旧中山道のたて場だった街と江戸時代最大の園芸エリアは今。
- 3. 駒込駅から：日光御成道(岩槻街道)沿いに史蹟を訪ねてみませんか。

定員：30名
受講料：2,000円
(含 資料代、保険料)

5/25(土)・6/15(土)・7/6(土)
10:00 駅集合
12:00 解散予定

C 講座

企画
講座部会

国立劇場 文楽観劇

演目：通し狂言 いもせやまおんなていぎん 妹背山婦女庭訓

- ・大内の段・小松原の段・蝦夷子館の段
- ・猿沢池の段・鹿殺しの段・掛乞の段・万歳の段・芝六忠義の段
- ・太宰館の段

日程：5/17(金)
10:30開演(終演15:05)
定員：25名
観劇料：6,570円(正価7,300円)
会場：国立劇場小劇場(半蔵門)

参加者の声

「山手線の駅から歩く路地めぐりⅥ」に参加して

本講座に初めて参加したのは2014年。60代に入り、気が付けば家族の留守番役のようにになっている自分に愕然として：という情けない動機からの参加でしたが、市井の人の暮らしに寄り添うかのような町歩きに自然と嵌りました。

昨秋は①高田馬場②目白③池袋：山手線3駅周辺を巡りました。目白駅にほど近い「エロシエンコ氏の像」で著名な中村麟アトリエ記念館に足を踏み入れた時は、昔から探し求めていた宝物に出会えたような感慨がありました！池袋駅東側は母の実家があるエリア。祖母とよく待ち合わせした喫茶「タカセ」もあり、とりわけ懐かしい時間となりました。

路地巡りは当日の楽しさもさることながら、気に入った場所を再訪して二度三度と味わえる良さがあります。色のない地図に色彩が加わっていく幸せも感じられます。東京の町の変遷を肌で感じ、暮らしを垣間見て歩く機会をお世話して下さる役員の方々に感謝すると共に、本講座が末永く駒場の伝統となりますよう願っております。

荒井 光代(旧姓 関)(駒24)

「日本国家2000年… 国・地方・個人の創生を考える」を受講して

女性の伝統校の血を引く都立駒場高校の女性っぽいイメージが強かったのですが、今回の男性の先輩の視点から見た経済スピードの講義を聞いて、厳しい現実の日本の姿に驚かされました。

天災から復興で従来の興味深い観光地としての姿を取り戻すには、やはり他国の観光業の例を参考に、その土地の歴史を生かさなければならぬと思います。また、経済効果を上げるにはリニア新幹線を急速に結び、水道・橋などインフラ整備も必要なこと、日本の問題点である生産性の向上には良いモノの開発と同時に在庫の管理も必要なこと、戦争、天災の歴史と赤十字の活動、高齢化のスピード、人口動態についても良く理解できました。

駒場高校で教わった自由と規律という精神があります。国家の価値はそれを構成している個人の価値によって決まるといふことなので、私も身近な自分の所属するコミュニティとその関係を築けるようにこれからは勉強を続けていきたいと思えます。

井口 麻里(旧姓 山口)(駒36)